

看護 しずおか

令和6年度

Vol.2



特集1 令和6年度 公益社団法人 静岡県看護協会定時総会

特集2 2024年 静岡県「看護の日・看護週間」記念行事
テーマ「みんなの健康、看護でささえます」

特集3 仲良く頑張る 親子で看護職

特集4 静岡県内看護師（介護施設・訪問看護ステーション）の
労働環境に関する実態調査（概要版）

特集5 災害支援ナース 養成と活動報告



会員数 21,965名（令和6年8月1日 現在） ● 保健師 485名 ● 助産師 871名 ● 看護師 20,095名 ● 准看護師 514名



人々の元気を創るライフサポーター



公益社団法人 静岡県看護協会

静岡県看護協会

検索

<https://www.shizuoka-na.jp/>

[静岡県看護協会]
お気軽にご利用ください



KANGO SHIZUOKA 2024 vol.2 ~看護に携わる皆様へ~

令和6年度 公益社団法人静岡県看護協会 定時総会

令和6年6月21日(金)公益財団法人静岡県看護協会定時総会をグランシップ中ホールにて、出席者297名、委任状の提出16,344名で開催されました。

開会式では、松本会長から「元日に起こった能登半島地震では、1月12日から2月23日まで延191人の災害支援ナースに、輪島市と金沢市の避難所に派遣で行っていただき、感謝申し上げます。

昨年9月からホームページに会長の部屋を開設し、様々な事業を発信してきました。地域包括ケア推進支援事業を展開している地域の皆様や、静岡県重症心身障害児者を守る会、静岡県難病団体連絡協議会の皆様から、挨拶の機会もいただきました。ネットワークが広がり、看護の力で地域が元気になっている様子を実感し誇りに思いました。また、福祉領域の方々からの看護への期待を直接お伺いし、協会事業の展開へのヒントも得ることができました。

また、昨年の看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針の改正、令和6年度診療報酬改定、専門性の高い看護師の評価、災害支援ナースが災害感染症医療業務従事者に位置づけられるなど看護職を取り巻く大きな変化がありました。

このような契機を生かすべく、団塊の世代が75歳以上に達する2025年を目前に控え、全世代型の地域共生社会

の実現が必要となる2040年を見据えて、5つの具体的な方策を重点事業に掲げました。

超高齢化社会と生産年齢人口の減少する社会で、看護が役割を発揮し予防活動や健康増進にも関与できる専門職として、組織の枠を超えて地域や場所と連携し多様化したニーズを捉え、自律的に行動することが期待されます。

一方、会員数の減少傾向が懸念されています。昨年の同時期の会員数22,071名が、最新情報では21,409名と、662名減少しました。多くの看護職の皆さんに協会の理念をご理解、ご賛同いただき、看護の質の向上にともに活動していきたいと思っています。そのためにも、私たちは前向きに、事業の可視化と情報発信に努めます。

そして、今後も、看護職を取り巻く様々な課題解決に向けて、日本看護協会や関係団体、静岡県行政と連携して取り組んでまいります」と挨拶がありました。

3職能から議長団が選出され、議案第1～3号、報告第1～6号について議事が進められ、会場から意見も出され、すべてが承認されました。

ヴァイオリン・ピアノ・フルートによるミニコンサートで癒しを、飛騨千光寺 大下 大圓氏による「ほっこり、ゆったりした生き方～呼吸法の体験～」の講演会で瞑想を行い、リフレッシュすることができました。



受付



会長挨拶



表彰式



講演会



ミニコンサート



かんこちゃん

望月 律子 (1949年生)

S46年静岡赤十字高等看護学院卒業、静岡赤十字病院に就職。S51年日本看護協会看護研修学校教員養成課程進学の為退職。S52年静岡赤十字看護専門学校教師に採用。S62年静岡赤十字病院に配置換え、看護婦長、看護副部長、看護部長を経て、H20年副院長兼看護部長。H24年3月定年退職。H24年4月～H29年6月静岡県看護協会会長、H25年6月～H30年6月静岡県訪問看護ステーション協議会会長、H30年4月常葉大学健康科学部看護学科特任教授、R2年～R5年同非常勤講師。S62年～H6年静岡県医師会高等看護学院非常勤講師。H27年～R2年順天堂大学看護学部非常勤講師。看護協会長の立場での公的会議委員他「静岡社会健康医学大学院大学設立検討委員」「同評価委員」等歴任。現在「日本赤十字学園評議員」「常葉大学評議員」。H24年日本赤十字社金色有功章受章、H28年日本看護協会会長表彰、H29年瑞宝双光章受章。



看護の変遷と共に歩んだ看護

新カリキュラム

1期生の看護学生としてスタート

看護を志したのは、看護一筋ではなく、いくつかの選択肢から選んだのが看護だった。

看護師が働いている場面に触れる機会は少なかったが「積み重ねができるテーマがある仕事」という職業像への期待と、社会に役立つ仕事であることが魅力だった。

昭和43年静岡赤十字高等看護学院入学。前年に、第一次カリキュラム改正が行われ、看護教育課程は、疾患中心の医療の枠組から看護の枠組へと転換し、教科書も全面改正されていた。「看護学」が体系化された新カリキュラム1期生として入学した。

入学後の戸惑い・・・寮には居場所が無い。
実習での学び方が分からない。

同期生に恵まれ、授業もフレッシュで楽しかったが、上級生と同室の寮生活は窮屈で馴染めず、毎週末は実家に帰る生活だった。1年生の見学主体の実習では、看護師の業務量の多さに驚いた。看護師の行う看護技術と、授業内容(基礎)が繋がらず、疑問が多い実習

だった。2年生になると、新カリキュラムにより制度化された「臨床指導教師」の配置により、授業と実習が関連できて、学生として学んでいる実感を持つことができた。学生運動が活発だった時代であり、全寮制の意義や医療のあり方など考える機会も多く、看護は制度的課題が多い職業である事も知った。多少の不安はあったが、看護師になれば、様々な課題が解決できるような気がして、卒業が待ち遠しかった。

希望が叶い小児センターへ配属・・・
実感した資格と白衣の重み

最初に配属された小児センターは、スタッフ業務同様の実習をした総合実習先である。スタッフ達の受け入れも良く、期待通りのやりがいのある毎日だった。1ヶ月前までは学生だった私が、勤務表の氏名順は、ベテランの准看護師より上段だった。ユニホームが変わっただけで、患児達、特に母親達の信頼が全く違った。白衣に寄せる信頼は、先輩達が築いた看護への信頼である。資格と白衣の重みを実感し、白衣に見合う仕事ができるよう、資格を育てていこうと、誓った最初の学びである。

テーマ「みんなの健康、看護でささえます」

第1弾

5月11日(土)サントムーン柿田川でイベント開催

体組成やベジチェック(野菜摂取量の測定)・ICLSインストラクターによる救急蘇生のレクチャー・胸骨圧迫やAEDの操作体験・お口のケアや転倒予防についてのパンフレットを用いた指導が行われました。また、バルーンアートプレゼントやナース服着用での写真撮影、赤ちゃん抱っここのブースは小さなお子さんに人気でした。会場を訪れた住民の皆様延べ549名に参加していただきました。



救急蘇生のコーナー



看護協会マスコット
「かんごちゃん」が登場



ラジオ放送の生出演



東部地区の看護職が大活躍

第2弾

6月8日(土)看護の出前授業を開催

「災害支援ナース」「保健師の仕事」「医療と経済」「フライトナースの役割」「命の授業」という5つのテーマで看護の魅力を発信しました。高校生380人が真剣に話を聞いていました。



能登半島地震の体験を伝える



フライトナースの活動について

仲良く頑張る 親子で看護職

7月第4日曜日は「親子の日」です。親と子の関係を見つめて、生をうけたことを感謝できる社会を築くことを目的に2003年に制定されました。県内で働く看護職親子を紹介します。



浜松市精神保健福祉センター
保健師 金子 怜子

●看護職を選んだ理由

母の影響で強く興味をひかれ、大学在学中に地域の人の健康を守る仕事がしたいと思い保健師を選びました。

●仕事の魅力・やりがい等

対象者に寄り添いながら課題を考えられること、様々な職種と協力しいろいろな角度から取り組めることです。

●子から親へのメッセージ

仕事に子育てに全力で頑張る姿を間近でみてきたのでとても尊敬しています。母のようになりたいです。



静岡県ナースセンター西部支所
看護師 松井 和巳

●看護職を選んだ理由

中山間地域で生まれ育ちました。ふるさとを離れ自立するために看護師になろうと思いました。

●仕事の魅力・やりがい等

仕事探しをする方々が、自ら決めて前に進んでいく過程をお手伝いしています。看護職を続けることを決めた姿をみるのが励みになります。

●親から子へのメッセージ

看護職に就いてくれたから、双方向の話ができて嬉しいです。これからもいっぱい話しましょう。



浜松市国保年金課
保健師 松井 宥子

●看護職を選んだ理由

姉の背中を見て決めました。幼い頃の作文で「保健師になる」と書いた記憶があります。

●仕事の魅力・やりがい等

今いる部署では、統計やデータ分析のなかで、個人だけでなく集団の健康課題を考え、改善に向けた事業を組み立てており、面白いと感じています。

●子から親へのメッセージ

母が人のために働けるのは、看護師が天職か、続けたからそうだったのかなと、考えることがあります。いつも支えてくれてありがとうございます。

長谷川耳鼻咽喉科医院 看護師 野添 弘美



●看護職を選んだ理由

母が地域の赤十字奉仕団に入っており、母の勧めで災害救護を行っている赤十字病院で看護職につきたいと思いました。

●仕事の魅力・やりがい等

現在は開業医での看護職の為、短時間での関わりが多い中、当院へ受診して良かったと思って貰えた時やりがいを感じます。

●親から子へのメッセージ

看護師の道を選んでくれてありがとう。同僚や同期と良い関係を築いて自分の目指す看護師になれるように頑張ってね。いつも応援してます！

共立蒲原総合病院 看護師 野添 咲桜



●看護職を選んだ理由

母が看護師として働いており、身近に感じる職業であったため、自然と看護師を目指していました。

●仕事の魅力・やりがい等

患者様からの感謝の言葉や、本人・家族が望む方向性にできる限り寄り添い退院支援を行うことができた時にやりがいを感じます。

●子から親へのメッセージ

看護師の仕事に理解があり、学生の頃から沢山話を聞いて相談に乗ってくれて感謝しています。これからも迷惑をかけてしまうことも、たくさんあると思いますがよろしくお願いします。

静岡市立静岡病院 看護師 高橋 桃加

●看護師を選んだ理由

母の働く姿を見て幼少期から看護師になることが夢でした。母から聞く看護の話が魅力的で、興味を持ち看護師になることを決めました。

●仕事の魅力・やりがい等

病気を抱えながら生きていく患者さんにとって、最善とは何かを考えながら関わることに、面白さややりがいを感じています。

●子から親へのメッセージ

悩んだ時や困った時には、良い相談役として心強く思っています。ここまで続けられたのは母のおかげです。ありがとう。身体に気をつけて働いてください。



静岡市立静岡病院 緩和ケア認定看護師 鍋田 泉

●看護職を選んだ理由

高校生の時、ボランティアサークルで老人保健施設に伺い、入所者の話し相手や作業のお手伝いをしたことがきっかけでした。

●仕事の魅力・やりがい等

その人それぞれの生活背景や価値観があるので、“その人にとって”を考えた看護の実践ができることが一番のやりがいだと感じています。

●親から子へのメッセージ

今は双子の子育てと夜勤など大変だと思いますが、自分を大切に。きつと貴女にできる看護があるはず！一緒に頑張らしましょう！！

静岡県内看護師(介護施設・訪問看護ステーション)の 労働環境に関する実態調査 (概要版)

令和5年8月～9月に静岡県内の介護施設・訪問看護ステーション看護代表者に実施した「労働環境に関する実態調査」に大変ご多用の中、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。調査の集計結果の概要を報告します。

① 調査及び回答施設の概要について

● 調査方法配布

【調査期間】 令和5年8月21日～9月30日

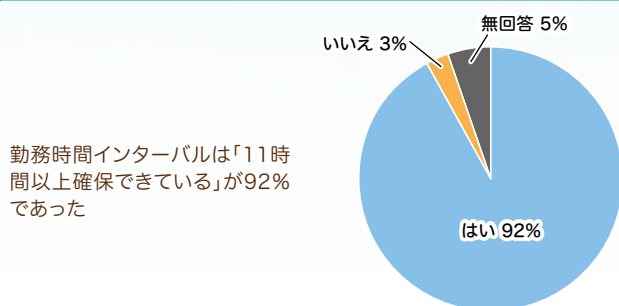
【調査対象】 静岡県看護協会に加入している介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院の看護代表者118名

【方 法】 看護代表者へのアンケート用紙による記述式/ 二次元コード

【回 収】 回収38施設 / 118施設 (回収率32.2%)

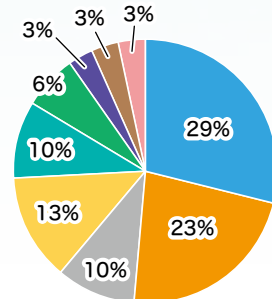
設置主体	施設数
市町村	2
広域連合・一部事務組合	1
社会福祉協議会	1
社会福祉法人(社会福祉協議会以外)	14
社団・財団法人	20
総 計	38

② 勤務間インターバル(11時間の確保)



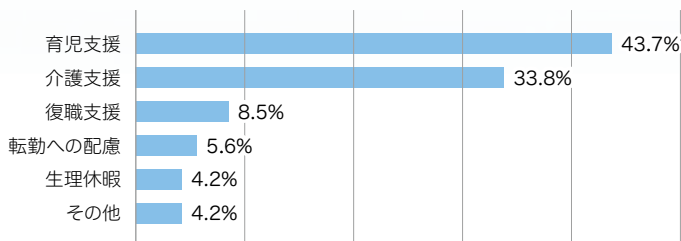
③ 時間外労働について

- ・時間外労働一人当たり月平均は1時間未満が29%で最も多かった
- ・時間外労働の主な内容は「記録」と「内服薬整理」であった
- ・時間外削減の取り組みとして、電子カルテ記録のペーパーレス、薬剤師のサポート、介護士へのタスクシフト、勤務時間内での会議の実施などがあった



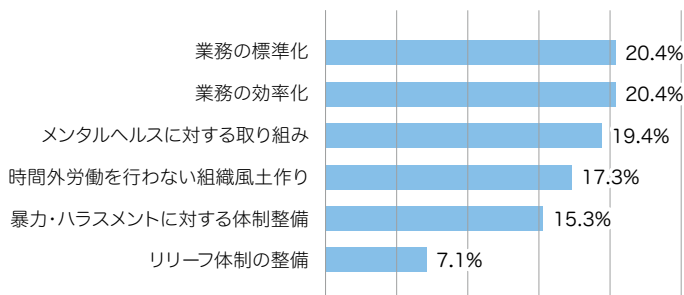
■ 1時間以上 ■ 1時間以上-3時間未満 ■ 3時間以上-5時間未満
■ 5時間以上-10時間未満 ■ 10時間以上-15時間未満 ■ 15時間以上-20時間未満
■ 20時間以上 ■ なし ■ 不明

④ 職員への就業支援・制度について(複数回答)n=71



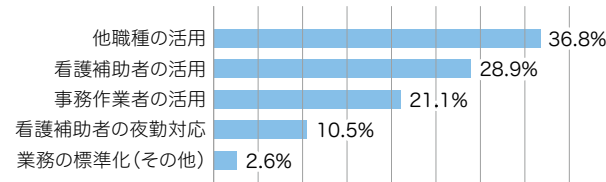
育児支援43.7%、介護支援33.8%で上位を占めた

⑥ 職場環境の改善の取り組みについて(複数回答)n=98



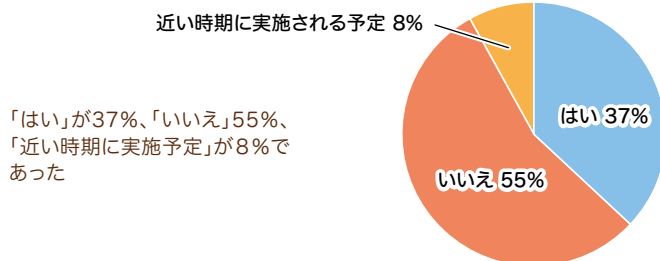
具体的には、ITの活用(電子カルテ、タブレット、眠りスキャン、センサーなど)、グループ内病院の薬剤科との連携であった

⑤ 看護師の負担軽減の取り組みについて(複数回答)n=38



他職種の活用36.8%、看護補助者の活用28.9%、事務作業者の活用21.1%であった。具体的には、看護補助者の喀痰吸引や介護サポーター(介護助手)などの回答があった

⑦ 看護職の処遇改善(賃金)があったか



まとめ

今回の調査は、118施設を対象に行ったが、38施設(32.2%)からの回答であり、すべての施設の実態が明らかにされたとは言い難い。看護職員への就業支援として育児・介護・復職など複数の支援が整備、活用されていた。特徴的であったのは、看護師の負担軽減の取り組みとして他職種・看護補助者・事務作業者が多く活用されていた。また、業務の効率化を目指してITの活用や看護補助者による喀痰吸引、薬剤師によるサポートなどタスクシフトに取り組んでいる施設もあった。介護老人福祉施設の人員は、看護師よりも介護職の方が多いため医療機関以上にタスクシフト・シェアの推進が望まれる。利用者の直接ケアは、効率化がなかなか難しいと推測されるため、身体介護以外の業務を行う介護サポーターの導入を考えることも業務の効率化・人材確保につながると思われる。

① 調査及び回答施設の概要について

● 調査方法配布

【調査期間】 令和5年8月21日～9月30日

【調査対象】 静岡県看護協会に加入している訪問看護ステーションの看護代表者98名

【方 法】 看護代表者へのアンケート用紙による記述式/二次元コード

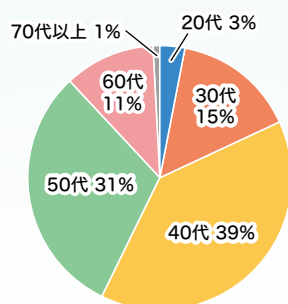
【回 収】 回収60施設 / 配布98施設
(回収率61.2%)



設置主体	施設数
医師会	1
医療法人	17
株式会社・有限会社・合同会社非営利法人	18
看護協会	3
公益社団法人	1
公立	2
合同会社	2
社会福祉協議会	1
社会福祉法人	9
社会法人・財団法人	3
特定営利法人	1
農業協同組合連合会・農協共済	2
総 計	60

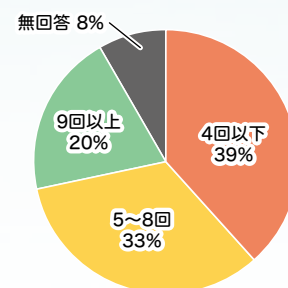
② 看護職員の年代について

看護師の年代は40代以上が80%を占めている

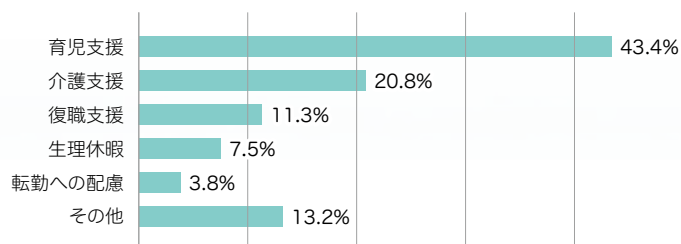


③ 1か月のオンコール回数

一人あたりの回数は、4回以下が39%、5～8回が33%、9回以上が20%であった

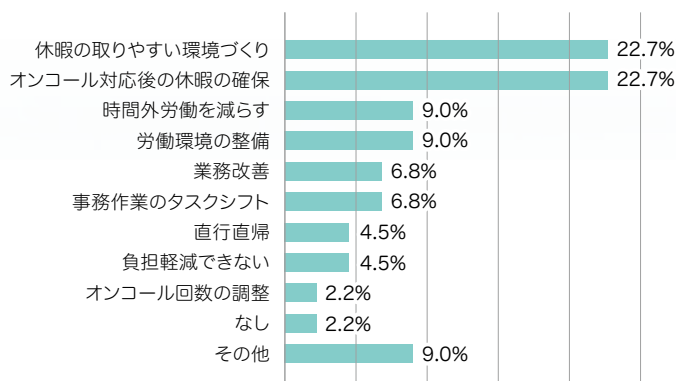


④ 利用している就業支援・制度について(複数回答)n=53



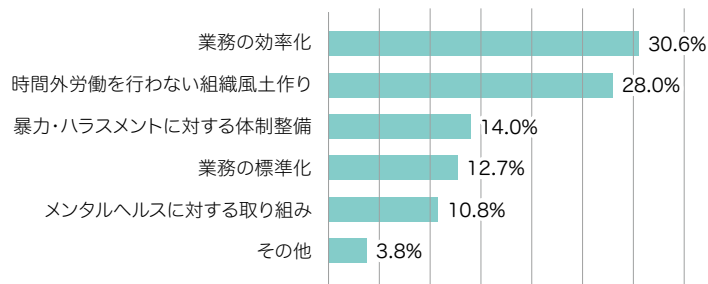
育児支援43.4%、介護支援20.8%で上位を占めた

⑤ 看護師の負担軽減のための取り組みについて(複数回答)n=44



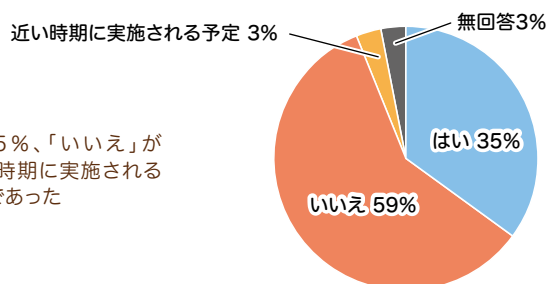
休み希望を通す等、休暇の取りやすい環境づくりをしている施設が22.7%、オンコール対応後の休暇確保をしている施設が22.7%と多かった

⑥ 職場環境の改善の取り組みについて(複数回答) n=156



業務の効率化が30.6%、時間外労働を行わない組織風土づくりが28.0%、暴力・ハラスメントに対する取り組みが14.0%であった

⑦ 看護職の処遇改善(賃金)があったか



「はい」が35%、「いいえ」が59%、「近い時期に実施される予定」が3%であった

まとめ

訪問看護ステーションで働く看護師の年代は、50代が約3割、60代以上が約1割、全体では40代以上が約8割を占めている。オンコール回数は、9回以上が2割を占め、人手不足がうかがえる結果であった。屋外での移動や、車の運転などの心身負担があり、DXや直行直帰等による移動負担の軽減や連携によるタスクシフト/シェア推進の観点から、事務職による訪問スケジュール管理や、車の運転をサポートする職種の導入等検討が必要。訪問看護師は、超高齢社会において重要な役割を果たしているにも関わらず、業務の過酷さや人手不足がうかがわれる結果であった。しかし、経営上の問題から、これらの課題解決には、国のサポートも必要であると考える。

働き続けられる職場づくり推進委員会

災害支援ナース養成と活動報告



公益社団法人静岡県看護協会 災害看護対策委員会

【災害支援ナースとは】

被災地等に派遣され、被災者の健康維持・確保に必要な看護を提供するとともに、被災した看護職員の心身の負担を軽減し支えることを行う看護職のことをいいます。

災害支援ナースは、災害支援ナース養成研修を修了し、都道府県と災害支援ナースが所属する施設（病院、診療所等）との間で締結した協定により派遣されます。（日本看護協会ホームページより）

【災害支援ナース養成研修】

令和6年度は、145名の災害支援ナースが誕生しました。

災害支援ナースになるためには、厚生労働省医政局が実施する「災害支援ナース養成研修（オンデマンド研修、災害・感染症演習）」の受講が必要です。演習では、派遣対応可能なスキルを身に着けるため「災害・新興感染症に係る応援派遣の体制」「派遣前の調整と準備」「災害時に求められる災害支援活動」「災害時の感染対策やゾーニング」「新興感染症の基礎知識」「感染防護具を装着しての看護の実際」「心理的变化と心のケア」の研修を行います。



【災害支援ナースの活動】

「令和6年度能登半島地震」では、静岡県看護協会から43名の災害支援ナースが、石川県内3か所の避難所で活動しました。

《主な活動内容》

- ・避難所での被災者の健康管理
 - ・体調不良への対応
 - ・施設内の感染対策と環境整備と指導
 - ・他の災害支援チームとの情報共有など
- 避難所の状況により活動はさまざまです。



【3月「災害支援ナース派遣後交流会」開催】

「災害支援ナースは一人で行かなくてはならず不安が大きかった」「自分たちの活動が確実に繋がっていたことがわかり、今回の災害支援に行って良かった」「災害支援ナース派遣を経験し、私たちの役割の確認やコミュニケーションの大切さ、多職種連携の重要性と難しさを感じた」など、それぞれの思いや経験を共有する有意義な会が開催できました。



第13回 静岡県看護学会 演題申込開始のお知らせ

期間 9/1(日)～9/15(日)

是非、あなたの看護を学会で発表してください

一般参加申し込み10/25(金)～11/25(月) 詳細はホームページでお知らせします

□ □ **研 修 報 告** □ □

ファーストレベル研修に参加して

高橋 今日子

ファーストレベル研修を受講し、看護管理者が行うべきマネジメントの基礎知識と実践について多くを学び、理解を深めることができました。著名な講師の先生方の講義は、とても刺激的で、自分にはなかった視点や、新しい知見を多く得る機会となり、受講中は毎日が充実した日々でした。また、他施設からの参加者との意見交換も、非常に有意義で貴重な時間となりました。今後はこの研修での経験を活かし、看護管理者として広い視野で問題を多角的に分析し、解決できるように取り組んでいきたいと思ひます。



地域と共に支える心不全患者の看護

教育委員：牧田 美佳



高齢化に伴い心不全患者の増加により、予防的な視点で長期的な療養生活を支える調整と連携が求められています。今回、慢性心不全看護認定看護師である河守悦子氏をお迎えし、心不全の基本的な知識や高齢心不全患者の特徴、療養支援について知識を深めました。事例検討では、ACPを含めた患者の思いを理解し、患者の自己効力感を高める継続的な療養支援を学びました。受講生からは「心不全のメカニズムから退院支援まで知ることができた」や「高齢利用者が多い中で日々の悩みが解消した」などの意見があり、日々の実践に役立つ有意義な研修でした。

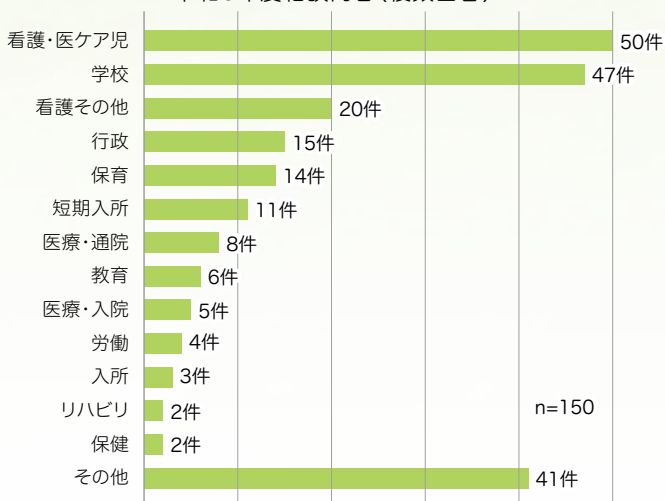
令和6年9月・10月 申込開始 の研修紹介

No	研 修 名	開催日	申込期間
1	事例から学ぶ!生活者として捉えた糖尿病看護のポイント	11/2(土)	9/1(日)～10(火)
2	「ふたりにひとり」の時代に生きるを支えるがん看護	11/7(木)	9/1(日)～10(火)
3	明日から私もできる!食べるを支える看護ケア	12/13(金)	10/1(火)～10(木)
6	みんなで考え、実践に活かそう看護倫理(2日間)	11/5(火)6(水)	9/1(日)～10(火)
14	看護職の成長につなげる看護実践能力評価者育成研修	12/16(月)	10/1(火)～10(木)
15	組織づくりに活かす看護倫理	12/17(火)	10/1(火)～10(木)
17～19	認知症高齢者の看護実践に必要な知識(2日間)	11/13(水)～	9/1(日)～10(火)
26	管理者研修 これからの時代で活躍する看護職を支える生涯学習～組織で行う生涯学習支援～【JNAオンデマンド活用研修】	12/12(木)	10/1(火)～10(木)

令和6年度 静岡県医療的ケア児等支援センター 新たな体制で活動しています

静岡県より受託した「医療的ケア児等支援センター」（以下、当センターとする）も活動3年目となりました。今年度、当センターに看護師一人が加わり、福祉スーパーバイザーとの4名体制で活動しています。令和6年度はこども家庭庁から「医療的ケア児等総合支援事業の実施」という課題を受け、当センターの活動も拡大しています。具体策として、昨年実施した多職種出張相談会の開催場所・回数を増やし、地域の病院、特別支援学校の協力のもと静岡県全域で行います。また、当センター職員が地域へ出向き、市町の担当者・医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者へ働きかけ、活動の促進および、関係機関が協力し合える体制を目指します。当センターに寄せられる相談内容は、自宅・学校等で行う医療的行為、就学・進級等に関連するものが多い傾向です。親が就職・復職するケースが増えている現状が背景にあり、医療的ケア児等が、こども園・学校へ通い、教育を受ける環境を整えることも課題の一つです。安心して自分の地域で生活でき、家族がケアで疲弊しない、みんなが穏やかに暮らせるよう、医療・福祉・教育機関等に働きかけていきます。

令和5年度相談内容（複数回答）



令和6年4月に就任しましたスーパーバイザー中澤範子です。私自身、今年3月で定年退職し、病院看護師としての勤務を終えました。今まで病院看護師として退院指導に関わった経験を、医療的ケア児等支援センターで活かしていきたいと思います。当センターに寄せられる声に真摯に対応していきます。



お知らせ

「令和6年度看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援活動助成」交付対象団体の紹介

- ① 浜名区・天竜区看護介護職地域連携会議（平成29年度発足）
- ② お茶の香みらいく 牧之原市・吉田町圏域（平成30年度発足）
- ③ 生きるを支えるネットワーク 沼津市圏域（令和6年度発足）
- ④ ここいきサポートネットワーク 伊豆田方郡・伊豆の国市・伊豆市圏域（令和6年度発足）

※ ①団体は、旧浜松市北区・天竜区看護介護職地域連携会議

※ ③・④団体は、ここいきサポートネットワーク駿東田方2次医療圏域（平成29年度発足）が分割継続されました

「令和6年度災害ボランティアナース育成事業費補助金」交付対象市および育成研修会開催日の紹介

●湖西市 8/18(日)

●袋井市 10/5(土)

●伊東市 12/22(日)

静岡県看護協会事業部
(054-202-1770)

申込みはこちら



～お知らせ～

※相談・研修は看護職であればどなたでも受けられます

感染症感染状況により変更することがありますので、ホームページやお電話等で事前に確認をお願いします。

1 移動相談(予約:不要)

県下16のハローワーク等に看護職の就業相談員が出向き、就業についてご支援します。お近くのハローワークにお出かけください。下記の日程で実施、湖西以外では求人施設が参加するミニ相談会も実施しています。開催時間・場所はハローワークにより異なります。ホームページで確認してください。

	下田	伊東	三島	沼津	富士 (大黒屋ビル)	御殿場	清水	静岡	焼津 (Biviキャン)	島田	掛川	磐田	浜松	浜北	細江	湖西 (新居地域センター)
9月	24日			18日	10日	24日		11日	13日	17日		17日	11日		24日	
10月		22日	22日	16日	8日		15日	9日	11日		休み		9日	4日		22日
11月				20日	12日	26日		13日	8日	19日		19日	13日		26日	

※ハローワーク掛川は駅前に移転し、便利になります。10月は引越しのため休みとなります。

2 9月以降の研修等予定

※申込は常時受付中(お電話でお申し込みください)

研 修 名	会 場	実 施 日	申 込 先
セカンドキャリア セミナー	アクトシティ浜松	10月 4日(金)	本 所 054-202-1761
	静岡県看護協会	11月12日(火)	
再就業研修	静岡県看護協会	9月18日(水)・19日(木)・20日(金)	東部支所 055-920-2088
	沼津市立病院	10月23日(水)・24日(木)・25日(金)	
	聖隷研修センター他 (浜松市)	11月18日(月)・19日(火)・22日(金) (3日目は浜松市リハビリテーション病院)	西部支所 053-454-4335

3 潜在看護師交流会 リフレッシュサロン

再就業にむけてナースセンターの利用法や、就職活動について、お茶を飲みながらゆっくりと情報交換をしてみませんか？
お近くのナースセンターへお問合せください。

日 程	場 所
10月 9日(水)	静岡県看護協会
未 定	東部支所
未 定	西部支所



4 「ナースのお仕事フェア」のお知らせ

地域の施設が参加するお仕事フェアを県内3か所で開催します。

再就業または転職を考えている方、働き方を変えたい方、定年退職予定の方に地域の施設をご案内します。
申し込みは不要です。お子様連れも歓迎しますのでお気軽におこしください。

会 場	日 程	時 間
静岡県看護協会 研修室	令和6年11月30日(土)	13:30～15:30
三島商工会議所 3・4F	12月14日(土)	13:30～15:30
アクトシティ浜松 コンgressセンター	令和7年 1月18日(土)	13:30～15:30



悩みは誰かに話しましょう

話した内容が他の人や職場に伝わることはありません。お気軽にご利用ください。

○ナースセンターは悩み事相談電話窓口を設置(新人専用の悩み相談電話もあり)しています。月～金曜日 9:00～16:00

TEL **054-202-1780**(専用ダイヤル) 新人専用 **090-2183-8734**(はなしてみよう)

(公社)静岡県看護協会 静岡県ナースセンター (相談時間/9:00～16:00 本所のみ火～木曜日は18:00まで)

本 所: TEL 054-202-1761

東部支所: TEL 055-920-2088

西部支所: TEL 053-454-4335

下田相談所(毎週木曜日 9:00～16:00) TEL 080-2650-0327

天竜相談所(毎週火曜日 9:00～16:00) TEL 080-2650-0237



Information

令和6年度 第1回 定時理事会 令和6年5月21日(火)

【協議事項】

- ①令和5年度 事業報告(案)
 - ②令和6年度定時総会(案)について
 - ・議案第1号令和6年度新任・補欠役員及び推薦委員会委員の選出
 - ・議案第2号令和7年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出
 - ・議案第3号令和5年度決算書(案)及び監査報告
 - ③令和6年度静岡県看護協会会長表彰候補者(案)について
 - ④診療報酬改定に係る訪問看護ベースアップ評価の運用について
 - ⑤公益社団法人静岡県看護協会規程改訂(案)
 - ・給与規程・訪問看護ステーション非常勤職員就業及び給与規定
 - ・寄附金規程・理事報酬及び退任報償金支給等規程・就業規程
- ※協議事項①～⑤は承認された

【報告事項】

- ①令和6年度行政機関・関係団体役員・委員の就任状況について
- ②令和6年度会費納入状況報告

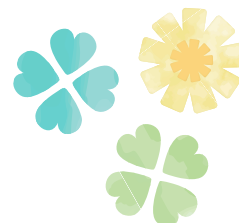
令和6年度 第2回 定時理事会 令和6年7月23日(火)

【協議事項】

- ①令和6年度事業報告
総務部・教育研修部・事業部・ナースセンター
 - ②令和7年度定時総会の日程及び場所について(案)
 - ③研修一括管理システム「manaable」導入について(案)
 - ④令和6年度事業の補正予算について(案)
- ※協議事項①～④は承認された

【報告事項】

- ①令和6年度会費納入状況報告



医療安全情報 2024年度 第2弾

医療安全推進のための取り組み

働き続けられる職場づくり推進委員会

医療関連機器による圧迫創傷

医療関連機器により皮膚が圧迫されていた部位に創傷を生じた事例が報告されています

※医療関連機器圧迫創傷

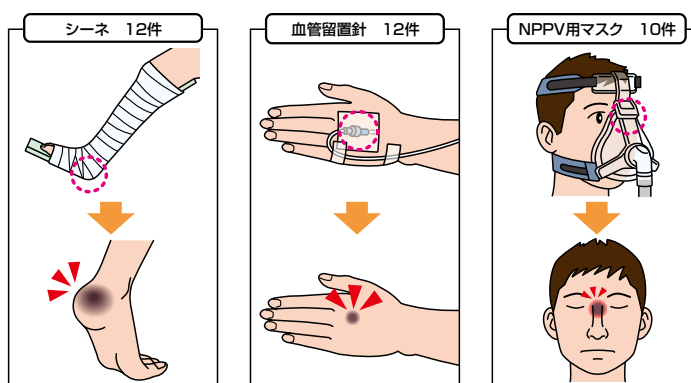
(MDRPU: Medical Device Related Pressure Ulcer)
2018年1月1日～2022年9月30日

- ・シーネやNPPV用マスクなどを固定・装着することにより、MDRPUを生じる可能性があることを周知する
- ・医療関連機器で圧迫されている可能性がある部位について、具体的な症状の有無の把握と皮膚の観察を定期的実施する
- ・MDRPUが発生するリスクをアセスメントして、必要時は皮膚科医や皮膚・排泄ケア認定看護師に相談する

上記の取り組みを検討してください

参考 公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療安全情報 No.192

圧迫創傷の発生に関わった主な医療関連機器と件数



- ◆その他に、気管切開チューブ(固定用の紐を含む)6件、胃管・イレウス管5件、弾性ストッキング、ミトン各4件、手術用体位固定具3件などが報告されています。
- ◆医療関連機器には、医療機器以外に物品・器具等も含まれます。

クイズに答えると、抽選で10名様にQUOカードが当たる!

クイズ

★★★ Quiz ★★★

問題

労働環境に関する実態調査において、職員が利用している就業支援・制度で一番多かったものは何ですか?

令和6年度「Vol.1」のクイズの答え: 2040年

当選者

リリナハノン様・加藤 衣織様・赤池 啓衣様・土屋 真理様・マリメッコ様・いわさん様・山下 恵美子様・長谷川 美保様・まあみ様・もんち様

応募方法

メールに①答え②氏名③所属④電話番号⑤郵便番号⑥住所⑦看護しずおかの感想⑧看護協会へのご意見をお書きのうえ、下記宛にお送りください。正解者の中から、抽選で10名の方にQUOカード(1000円分)を差し上げます。当選者は「Vol.2」に掲載します(ペンネーム可)

※今年度からメールのみの受付となります

■メールの宛先

kango@shizuoka-na.jp
または二次元コードから

応募締切日 9月30日(月)



静岡県看護協会 LINE公式アカウント 開設しました



看護の日キャラクター
しずおかんこちゃん

お友達追加
よろしく
お願いします



公益社団法人 静岡県看護協会

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ3階
TEL.054-202-1750/FAX.054-202-1751 編集責任者: 松本 志保子

令和6年8月26日発行